

産業建設文教委員会

委員長	井元 宏三				
副委員長	綾香 良一				
委員	池田 稔巳	神田 全記	竹山 俊郎		
	辻 賢治	松尾 実	松本 正治		
	山本 芳久				



委員長報告全文は
こちらをご覧ください。

産業建設 文教委員会 レポート

指定管理者の指定(オランダ商館)や鳥獣被害防止 総合対策事業などを議論

産業建設文教委員会

土地の処分について(工業団地)

Q 工業団地のうち法面、緑地等の部分の売却は考えていないのか。販売価格が近隣自治体より安く1㎡当たり約5千円であるとのことであるが妥当な価格であるのか。

A 法面、緑地等を無償で譲渡することを含め協議したが、他の自治体でも工場用地のみを売却していること、都会では工業団地は平地であり、法面の考えがないことから難色を示されたため市で管理することとなった。販売価格については、本市は地理的に不利であることを考慮して価格を決定している。

Q 5年間で50名を雇用する予定としているが、確保はできるのか。

A 長崎県産業振興財団、長崎県企業振興課、ハローワークと連携して採用支援を行うとともに、高校においては合同企業説明会を開催するなど、今後とも雇用の確保については、引き続き関係機関と連携し十分にフォローアップしていきたい。

Q 新たに企業が誘致されることで本市にもたらされる影響はどのようなものが考えられるか。

農業委員会運営事業

Q 農地利用最適化推進委員は総会における決議権等も無く総会へは年7回の出席とのことであり、報酬についても農業委員との差があるが、問題等を共有するためには毎回出席する必要があるのではないか。

A 佐世保市、松浦市、佐々町の推進委員は毎月出席しているが、担当地区の議題がある場合に出席を求めている市町もある。今後はさらに他市の状況を調査しながら、推進委員の対応について検討していきたい。

機構集積支援事業

Q 農地の意向調査、非農地調査は毎年何件程度行っているのか。

A 毎年各600件程の調査を行っており、意向調査はA分類の者を調査しており、「自ら耕作を行う」、「中間管理機構への利用希望」、「所有権移転を考えている」などの回答が多くなっている。非農地通知はB分類の者を調査しており、田平地区、生月地区、大島地区は平成28、29、30年度に行い耕作放棄地の筆数は減っている。北部地区、中部地区は国土調査が行われているため状況を見ながら調査を行い、

A 今のところ雇用や物流による経済効果を考えているが、今回、進出する企業への視察が考えられ観光にも影響があるのではないかと。

指定管理者の指定について (平戸市平戸オランダ商館 1639年築造倉庫)

Q 2年前に指定管理者の指定を受ける際、4年間の認定を受けることになつてしたが、2年間の決定によりその間の集客に対する対応を求められてきた。反省を踏まえどのような改善を行ってきたのか。

A 近くに駐車場が無いことから、平戸港交流広場からオランダ商館までの誘導案内板を設置し、オランダ商館への誘導を強化した。また、指定管理者との連携を図るため、課題共有と今後の取り組みについて協議を重ねてきたところである。指定管理料については、館長の人件費を松浦史料博物館50%、オランダ商館50%、の割合を70%と30%に減額変更することや、電気料金の契約見直し、職員の努力により管理運営経費等を削減することで、年間200万円を減額し、1,900万円としたところである。また、今年度、展示にとられない施設の活用策について、史跡平戸和蘭商館跡保存活用計画の策定にも取り組んでおり、

人・農地問題解決加速化 支援事業

Q 本事業の現在の進捗状況はどのようなになっているのか。

A 令和2年度に人・農地プランの実質化に取り組んだが、コロナ禍の影響を受け、予定していた数の集落に入って推進することが出来なかった。まだ取組めない集落については、令和3年度までに終了したいと考えている。プランが作成されれば、集落における農地の方向性、担い手の動向など状況を確認することができるため、作成したプランを今後どのように活かしていくかが課題であると思う。策定後も、各集落をフォローアップしながら進めていきたい。

鳥獣被害防止総合対策事業

Q ワイヤーマッシュ設置後に、耕作放棄地になった農地の把握や指導はどのようにしているのか。

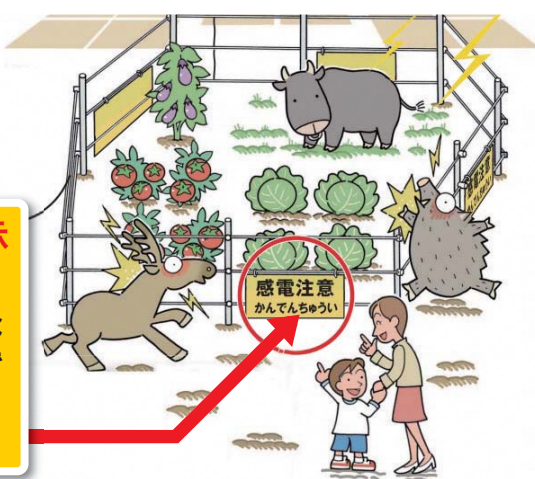
A 平成19年から設置を進めているが、設置後に全部または一部が耕作放

その中で、カフェの設置に向け、オランダ商館内に休憩スペースを設置することや屋外での仮設によるカフェスペースの設置など、どのような形態が商館に適したものか検討している。さらに、平戸オランダ商館開館10周年の節目の年でもありホームページのリニューアル、一部展示を体験型のVR導入やセンサー設置による変化のある展示にリニューアルする予定である。指定管理者においては歴史にとられない企画展の開催も計画している。4月には平戸城がリニューアルオープンすることで誘客が見込まれることから、観光課の事業とも連携し、今後ともオランダ商館への誘客に努めると同時に、調査研究分野も推進しながら、商館設置の大きな目的に沿った文教施設としての役割を果たしていきたい。



棄地となり管理が出来ていないところもある。

農林課だけで全体を把握することは難しいことから、現状把握について、中山間地域の組織の方々、農業委員会などと今後、どのように連携できるか検討し、設置の効果が発揮できるように努めていきたい。



危険である旨の表示

電気さくを設置する場合は、人が見やすいように、適当な位置や間隔、見やすい文字で危険である旨の表示を行うことが必要です。